
正月の恋物語

彌弌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

正月の恋物語

【Nコード】

N4669D

【作者名】

彌劔

【あらすじ】

一月一日のある少年と少女の恋物語である

(前書き)

短いけど復帰したので見てください

そうこれはある青年と少女の正月の物語である

「正月だなあ。一人で神社行くのもなあ、まあ祈ってくるか。確か夜12時に行けばいいんだな。」そして青年は家を出た。

「私も今日だけは祈って来ないとね、新年向かえる為に祈ってこなきゃ。」少女も家出た。

青年と少女は暮らす所が同じ 同じでも見知らない顔 でも正月だから 仕方がない

青年曰く 正月に祈ると嬉しい事があると言う。あながち推測だ。少女も同じ事を思う。きつと今日祈ると良い事が起こると。

そして一月一日夜12時になった。

「人多いけど今日こそは祈るぞ。」

青年は人込みが少ない列に並んだ

「私だって今日だけは祈る」

少女は反対側の人込みが少ない列に並んだ

そして青年はこう祈る（今日こそ良いこと有りますように）

そして少女も（神様今日こそ私に良いこと有りますように）

二人とも似た者同士だった。

そして 青年はおみくじを引く。見たら【大吉】 恋愛は待てば幸

を呼ぶと書いていた

そして少女もおみくじを引く 結果は【中吉】 恋愛は思わぬ出会いありと書いていた

しかし、人とは何時しか離れる事もある。

「おっとごめんよ。」と不意にその少女にぶつかった。その時は可愛いと思った。

「あ、こちらこそごめんなさい。」

目が合う、しかし少年は言葉が出ない。

「……っ！」

少女もこの時恋をした。

「あの〜一緒に屋台見回りしませんか？」 「いいですよ。」

そして二人は手を掴みながら屋台を回った

少年と少女の正月の恋の物語はこのあとどうなったのかは 想像に任せます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4669d/>

正月の恋物語

2010年11月17日14時07分発行